

褥瘡推定発生率

当院入院中に発生した患者さんの褥瘡(床ずれ)推定発生率です。

令和7年4月	令和7年5月	令和7年6月	令和7年7月	令和7年8月	令和7年9月
0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

令和7年10月	令和7年11月	令和7年12月	令和8年1月	令和10年2月	令和8年3月
0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

※全国一般病院 平均値
1.20%

定義

算出期間: 令和7年4月から令和8年3月

(調査日に褥瘡を保有する患者数－入院時すでに褥瘡を保有していた患者数)／調査日の当院入院患者数×100(%)

注1 調査日の施設入院患者数: 調査日に入院または入院予定者は含めない。

調査日に退院または退院予定者は含める。

注2 1名患者が褥瘡を複数部位有していても、患者数は1名として数える。

注3 入院時すでに褥瘡を保有していた患者であっても、新たに入院中に褥瘡が発生した場合は、院内褥瘡発生者として取り扱い、褥瘡推定発生率を算出する。

※表中の「全国一般病院平均値」は、日本褥瘡学会「第4回(平成28年度)日本褥瘡学会実態調査委員会報告1」より引用しています。